２０２３/９/１９（火）

２０２３年９月
邦画鑑賞会

候補映画から、参加者が選んだ映画を
上映します。

吉岡　芳夫

瞼の母

[再生 | U-NEXT (unext.jp)]

長谷川伸原作、戦後の日本映画界を支えた銀幕スター・中村錦之助主演による名作時代劇
1962年　(83分)

見どころ
長谷川の名作戯曲を加藤泰監督が自ら脚色。わずか15日間で撮影された。流麗なカメラワークや長回し、的確なカッティングなど、加藤の職人芸がさえ渡っている。

ストーリー
5歳で母親と生き別れた番場の忠太郎。博徒になり、母を捜す旅を続けていたある日、弟分を救うため飯岡家の数名を斬る。江戸に向かった忠太郎だが、飯岡家の追っ手も迫る。そんななか、母と思われた女性に「忠太郎は九つの時に死んだ」と告げられ…

遙かなる山の呼び声

再生｜U-NEXT (unext.jp)

警察に追われる男と、亡夫の残した牧場で暮らす母子の出会いと別れを描いた純愛物語
｜1980年　　再生(123分)

見どころ
山田洋次監督の演出、高倉健と倍賞千恵子のやり取りに、切なくも心温まる純愛と美しさを感じる。吉岡秀隆、ハナ肇、武田鉄矢、渥美清ら共演者の演技も胸に染みる。

ストーリー
北海道・中標津（なかしべつ）。風見民子は息子を育てながら牧場を切り盛りしている。ある冬の嵐の晩、一夜の宿を求めてひとりの男が訪ねてきた。男は納屋に泊まり、牛のお産を手伝って、翌朝に出ていった。そして夏、再び男が現れ、働かせてほしいと頼んでくるのだが…。

ぼけますから、よろしく
お願いします。
～おかえりお母さん～

再生｜U-NEXT (unext.jp)

老いた両親のありのままの姿を一人娘が映し出したドキュメンタリーの続編
再生１００分

見どころ
現実を冷静に捉えようとする監督としての立場と、実の娘という二つの立場で葛藤しながら撮影する監督。どの家庭でも起こりうる宿命を優しく見つめた映像に涙があふれる。
ストーリー
90代の両親を1作目完成後も撮り続けた「私」こと信友直子監督。2018年、父は家事全般を取り仕切れるまでになっていたが、母の認知症はさらに進行し、入院生活が始まる。病状が深刻さを増していくなか、2020年3月に新型コロナの感染が世界的に拡大し…。

今後の懐かしい邦画上映候補

- 雪国　　天真爛漫さや悪戯っぽさ、静かに燃える美しき日本女性の姿　　岩下志麻
- 喜劇　急行列車　　特急列車の専務車掌・青木の人生の哀歌が突っ走る　　渥美清
- 野菊の墓　　少年少女の淡い恋模様を綴る　　昭和５６年作カラー版
- ゼロの焦点　　日本海の海鳴りに消えた驚くべき完全犯罪　　久我美子
- 修羅の群れ　　戦前から戦後にかけて生き抜いた男たちの友情と畏敬の愛を描く　松方弘樹
- ~~内海の輪　　女性心理を露出させたことで注目を浴びたサスペンス　　岩下志麻~~
- 瞼の母　　五つの時に分かれた母を捜し歩いて２０年　涙の名作
- **遥かなる山の呼び声　　古き良き昭和　大自然と人情・日本の心を感じる名作　高倉健**
- 配達されない三通の手紙　　栗原小巻主演の大型ミステリー
- **幸福の黄色いハンカチ　鮮烈に蘇ったあの黄色・日本中の涙を誘った名作高倉健賠償千恵子**
- 冬の華　　堅気になれず破滅していく男の哀歌を描く　　高倉健